

2008 「情報社会と情報倫理」 中間試験課題

学籍番号 :075739A

氏名 :津波古正輝

以下の3つの問に関して、数百文字程度で回答せよ！

問1:教科書 P70 に「三つの病と三つの K」という項目があります。ここに、「家庭」を健全に保つことの重要性が述べられています。自分が、「家庭」を健全にするために、できること、もしくはすべきことを提案し、現在の自分と比較して、今後どうすべきかを考えて述べよ。

私が家庭の健全の為にできることは、家族と話すことだ。最近バイトを始めたせいで、夜遅くにしか帰って来れず、家族と話す機会が減った。そのせいかもしれないが、家族にお祝い事があっても、他人行事のような感じになっている。この状況は良くない。なので、積極的に家族と話すようにしたり、家族に行事やお祝い事があったら参加していくことが今の私にできることであり、同時にすべきことである。

問2:講義の中で、経済的価値以外に、道徳的価値・行為の価値(川に落ちた子供を助けるような)の存在を学んだ。経済的価値ばかり重視すると、なぜ良くないのか、事例をあげて説明せよ。

なぜ道徳的価値と行為の価値より、経済的価値ばかり重視するとよくないのか。ずばり、経済的価値とは、『お金』のことだ。

この様な例があったらどうだろうか。

ある会社が新商品のアイデアを提案した。その商品は絶対に売れるものであり、その会社に多くの資産を生み出すものである。しかし、その商品を作るには人間の一人分の命が必要だ。この商品を作るか、作らないか。

この場合どちらを選択するだろうか。一般的に考えて、作らないを選択するだろう。この、『一般的な考え』が人として大切な考えだ。おそらく、この考えとは、「経済的価値<道徳的価値」という式のことだ。人間はこの考えによって判断を下す。極端に言えば、この式のおかげで人は平和に暮らせていける。これがもし、「経済的価値>道徳的価値」になるとどうなるだろうか。他人のことは気にせず、自分の事だけ考える無法地帯な世界になってしまうだろう。

経済的価値ばかり重視すると、人は自分勝手な存在になってしまう。なので、経済的価値よりも道徳的価値、行動の価値のほうが大切である。

問3:エンジニアの判断と経営者の判断が一致せず、不幸な事件が起きた実例を学習した。エンジニアとして社会で活躍する場合にも、単に技術力だけでは不十分かと思われる。エンジニアであっても、技術力以外で学び成長すべき面をあげ、その理由も説明せよ。

社会にでて仕事をするには、どのようなものが必要か考えてみよう。1番目には、その仕事に関する知識（技術力）だ。これがなくては、何もできない。2番目にはコミュニケーション力だ。1人でできる仕事ばかりではない。むしろ社会とは、皆で協力してやっていく仕事ばかりだ。社会で仕事をする上で最低限必要なのは、この二つくらいだろう。

上で述べた社会で仕事をする上で最低限必要なものに、私は番号を付けたが、この番号には優劣はない。二つとも大事なものであり、どちらかがあれば良いという考えではだめだ。なぜなら、知識があっても人と接する事ができなければ、できない仕事もでてきて結果的には仕事ができないという事に繋がるし、人とコミュニケーションをとることができるが知識がないというのは、仕事をする上で問題外のことである。

人は(日本は)、社会にでる前は学校に通い、知識を学ぶ。しかし、知識だけでなく、人と接すると事を学ぶということも学校には含まれている。学校で勉強ができるヤツが、社会に通用するとは限らない。

以上より、知識（技術力）だけでなく、人との接し方も学ぶ必要がある。